

働く夢、広げよう!

みんなでグッジョブEXPO2009

雇用情勢の改善に向け、7月10日コンベンションセンターにて、関係機関、団体等が協力して、推進大会をはじめ各種イベント等を実施します。

ーみんなでグッジョブ運動推進大会2009ー

- ◆日時 7月10日(金) 午後2時~4時
- ◆会場 沖縄コンベンションセンター会議棟
- ◆トークショー ジュン安永氏(琉球ゴールデンキングス)
- ◆ミニライブ 砂川恵理歌さん

◇問合せ先 県産業政策課雇用創出戦略スタッフ室
☎098-866-2324

従業員研修促進支援事業

県では、県内に新規に立地する企業又は業務拡大に伴い従業員を増やす企業が、新規雇用を伴い従業員に専門的で高度な技能や技術を習得させるため、県外先進企業等へ派遣し研修を行う際の交通費及び住居費等を助成する事業を今年度より開始いたします。

◇問合せ先 (財)雇用開発推進機構
☎098-859-6140

「建築技能研修」を開催します

県では、社団法人沖縄県建設業協会との共催で、平成21年度建築技能研修(即戦力養成研修)を実施します。

対象者は土木工や塗装工などで、新たに建築型枠や鉄筋の技能を身につけ就労したい方。在職中・失業中を問いません。

- ◆受講料 無料
- ◆研修期間 8月17日(月)~10月14日(水)
- ◆実施場所 沖縄県建設会館(浦添市牧港)

◇問合せ先 (社)沖縄県建設業協会
☎098-876-5211

企業・団体のみならずへ 障害者委託訓練委託先の募集

県では、平成21年度「障害者の態様に応じた多様な委託訓練」を受託し、職業訓練を実施していただける団体を募集しています。

障害を有する方に対する職業訓練の知識・経験を有する社会福祉法人・企業等で、受託を希望される場合は、県雇用労政課までお問い合わせください。

◇問合せ先 県雇用労政課能力開発班
☎098-866-2366

Q 仕事の苦労は? やりがいを感じる瞬間は?

A 薬剤を直接手で触る仕事なので神経を使います。ミス防止のためすべてに注意深いことが求められ、似た名前の薬は離して配置したり、複数の薬剤師で何度もチェックを行うなど基本を徹底。やりがいは仕事の中に常に新しい情報や学びがあること。書籍やネットなどで新薬の情報を収集したり、管理薬剤師の定例会議で各

薬の説明は患者さんにわかりやすく行います。



Q 仕事を辞めたいと思ったことは? どのように乗り越えましたか?

A 超繁忙店にいた新人の頃、「薬剤師ってこんなに忙しいのか」と衝撃を受けました。明日休みたいたいなく思ったことはあります(笑)。一年も経つと忙しさにも慣れ、ハードな環境で仕事も鍛えられました。今では「忙しくて良かった」とさえ感じています。尊敬できる上司の存在も大きいですね。

Q 職場の人間関係は? 円滑にする秘訣は? 同じ道をめざす人へアドバイスを!

A 店舗や業界の情報を共有したり。まだ勉強不足でわからないことも多いから必死でやり続けたい、こなしたいと強く思います。仕事はプライドでありアクションの証ですから。



上司からもヒトコト



上司にかわいがられるまじめで素直な性格。自分で気づいて動くことができる優秀な人材です。面接時の「高齢者のお役に立ちたい」という高良の想いを汲み、入社4年目でよみたん店の責任者に抜擢しました。薬剤師は、たとえば痛みを伴う患者さんにいかに親身になれるかが大切。洞察力や判断力も重視され、日々の勉強も欠かせません。地域の信頼を得られるよう今後も頑張りたいです。

すこやか薬局グループ北エリア長 比嘉浩一さん

仕事現場ウォッチング

興味のあるシゴトはあるけれど、その実態がよくわからない。 やりがいや本音、現場の空気をもっと知りたい!そんな思いに応えてさまざまなシゴトをレポート! ヒントはいつも現場にありました!

●今月のシゴト・ターゲット「医療のシゴト(薬剤師)」

株式会社 薬正堂 すこやか薬局よみたん店 管理薬剤師 高良 武志さん(29歳)

薬剤師のシゴトとは

病気や薬の知識と継続的な勉強が必要なシゴト。患者さんや医師とのコミュニケーション能力も重要です。



病院からの処方せんを基に薬を正確に調剤し、正しい服用方法や用量の説明、アレルギーの確認などを行い、患者さんへ薬を直接渡すのが仕事です。薬剤師は四年制(二〇〇六年以降は六年制)大学で薬学に関する正規の課程を卒業し、国家試験に合格することが必須条件。医薬分業が進む中で薬剤師の仕事も広がっており、薬や病気に関する専門知識だけでなく、患者さんに親身になって対応する姿勢、薬の総合的な相談窓口としての確かなアドバイスも求められます。医療や薬の進歩に対応するため、新薬などの情報収集や勉強は欠かせません。幅広い視野や的確な判断力、慎重さなどが必要で責任は重いですが、社会的な役割もやりがいも大きな仕事です。

PROFILE 高良 武志さん



1980年沖縄市出身。高校卒業後、県外大学薬学部へ進学。2004年4月、薬剤師免許取得。株式会社 薬正堂入社。すこやか薬局中頭店を経て北谷店へ異動後、管理薬剤師に任命。2009年5月1日より、よみたん店で管理薬剤師として薬局の運営・管理を行う。



常に緊張感を保ち続けるよう努力しています。

Q この仕事に就いたきっかけは?

A 進路が理系で、兄が看護師だったこともあってごく自然に医療関係の道へ。医師はさすがに難関だったので薬剤師を選びました。大学卒業後に国家資格に合格し、沖縄へ帰った現在の職場で薬剤師募集がありました。

Q 「管理薬剤師」と「薬剤師」の違いは?

A 薬局には責任者を一人配置することが薬事法で定められており、管理薬剤師はその責任者でいわば店長職。私もよみたん店の立ち上げに大きく関わりました。病気の種類や症状別に薬剤棚の配置を決めたり、動きやすい動線を考えるなど、薬局の運営や管理は管理薬剤師の裁量に委ねられています。

Q 一日の平均的なスケジュールは?

A 午前八時半に出動してコンピュータや機械類を立ち上げ、不足している薬の注文手配、薬を取りに来る患者さんの予約確認などを行います。九時には薬局が開店。一日平均約七十名の患者さんに対応します。午後六時の閉店後に残業することもあります。

